

ヒト受精卵や配偶子のゲノム編集を考える

日時 平成29年4月30日(日) 13:00~17:00

場所 日本学術会議講堂 港区六本木7丁目22-34
アクセス: 東京メトロ千代田線 乃木坂駅 出口5 徒歩1分

参加無料
申し込み不要

開催趣旨: 日本学術会議では、先端遺伝子改変技術であるゲノム編集の利用が進んでいる現在の状況の中、学術振興の観点から、特に医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方について審議を重ねてきました。今般、提言素案のとりまとめに当たり、広く意見をいただくため、公開シンポジウムを開催いたします。

プログラム

13:00 開会のあいさつ

五十嵐 隆 (日本学術会議連携会員、国立研究開発法人国立成育医療研究センター理事長)

13:15 - 15:00 セッション1 7人の有識者による論点の提供 (発表順番の変更の可能性もあります)

(仮題) 日本の生殖医療の現状

齊藤 英和 (国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター副センター長)

(仮題) ヒト生殖細胞系列ゲノム編集の基礎研究

阿久津 英憲 (日本学術会議連携会員、国立成育医療研究センター研究所生殖医療研究部部長)

ヒト生殖細胞系列ゲノム編集の倫理社会的問題

石井 哲也 (日本学術会議連携会員、北海道大学安全衛生本部教授)

(仮題) 宗教からヒトゲノム編集を考える

島菌 進 (日本学術会議連携会員、上智大学大学院実践宗教学研究科教授)

ヒト胚・ヒト配偶子のゲノム編集: 規制のいまとこれから

町野 朔 (日本学術会議連携会員、上智大学名誉教授)

ヒトゲノム編集と科学技術イノベーション政策

原山 優子 (総合科学技術・イノベーション会議議員)

(仮題) ヒトゲノム編集を巡る世論

永山 悦子 (毎日新聞編集編成局編集委員)

15:00 - 15:15 休憩

15:15 - 15:45 セッション2 模擬討論 コーディネーター 池端 玲佳 (NHK報道局科学文化部記者)

4人の登壇者がヒト生殖細胞系列ゲノム編集についての賛成、反対に分かれて模擬討論を演じます

登壇者: 石井 哲也 (前掲)

有江 文栄 (日本学術会議事務局上席学術調査員)

阿久津 英憲 (前掲)

中山 早苗 (日本学術会議事務局上席学術調査員)

15:45 - 16:45 セッション3 会場の皆さまのご質問、ご意見、ご感想などきかせてください

16:45 閉会のあいさつ

石川 冬木 (日本学術会議第二部会員、京都大学大学院生命科学研究科教授)

後援: 日本遺伝子細胞治療学会、公益社団法人日本産科婦人科学会、一般社団法人日本生殖医学会、特定非営利活動法人日本分子生物学会、公益社団法人日本生化学会、日本生命倫理学会、一般社団法人日本人類遺伝学会、一般社団法人日本ゲノム編集学会、日本再生医療学会